



令和4年1月17日 【冬号】

発行：糸満市立潮平小学校  
 特別支援教育校内委員会  
 Tel (098)992-2545  
 特別支援教育コーディネーター

今年度も残すところ三ヵ月となり、学年のまとめ、次年度へのスムーズな移行のための準備期間となります。引き続き、今年も本校の特別支援教育を含む教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今回は、次年度へのスムーズな移行のためにも、お子さんの発達面について今一度考える機会にしていただけだと考えております。少しでも気になるところがありましたら、ぜひ学校（担任または特別支援教育コーディネーター）までご連絡ください。

お子さんについて気になる（心配な）ところはありませんか？  
 下の表であてはまる項目があればチェックしてみてください。



	項目	チェック欄
学 習 面	授業（宿題）に集中できない	
	教室（家）を飛び出してしまう	
	質問にうまく答えられない（意見や考えをはっきり言わない）	
	文字を読むことが苦手（音読の宿題でつまづく）	
	字がうまく書けない（書き取りをやりたがらない）	
	算数でつまづきがある（算数の宿題に時間がかかる）	
	点数や勝敗にこだわる	
生 活 面	忘れ物が多い（手紙やプリントが届かない）	
	整理整頓ができない（かたづけができない）	
	係や当番の仕事ができない	
	順番やルールが守れない	
	思わず手が出してしまう	
	一方的に話してしまう	
	相手の気持ちが読めない	
	変更に対応ができない	
	手順や配置にこだわる（部屋の模様替えを嫌がる、同じ服ばかり着たがる等）	
	パニックを起こす	
登校したまらない		

※ 上記の項目以外でも気になる所があれば、学校まで気軽にご相談ください。(^^)

## 周囲の見方と本人の心境のギャップ

周囲の見方は・・・

何度注意しても  
変わらない子

カッと



大人の言うこと  
をきかない子

ルールを  
守らない子

本人の心境は・・・

みんなと仲良く  
できないのは  
どうしてだろう

どうして怒られ  
ちゃうんだろう



実は...

ぼくはダメな  
子なんだ

実は**本人が**  
**一番困って**

**重要！**

発達面での困難さに対する支援で重要なことは、**困難さに早期に気づき、支援を開始すること**、その**支援を継続**していくことです。

発達面で困難さを抱える子は、困ったり悩んだりしていることに、**周りからなかなか気づいてもらえない**うえ、無意識に行なった失態などをひどく叱責されたり、本人は精一杯努力しているのにそれを認められなかったりすることがよくあります。

そうした経験が積み重なると、自分の可能性や力が信じられなくなり、自信や意欲を失っていきます。さらに、周囲の人や社会に不信感や反発心を抱くようになり、故意に規則違反をしたり、周囲の人に暴言を吐いてしまったり、すぐに腹を立てて乱暴したりするようになります。こうした状態を「**二次的障害**」といい、周囲の無理解や不適切な対応が重なって起こると知られています。**二次的な問題が起きてくると、その改善は難しくなります**。そうならないためにも、**子どもの発達面での困難さにできるだけ早く気づき、適切な支援を提供してあげることが大切**です。



**まずはご相談を！**

家庭と学校が、お子さんの特性について情報を共有しておくことで、今必要な支援を共に考えたり実践したりすることができるようになり、お子さんの困り感を減らすことにつながります。また、**進級後の新しい担任にその情報を引き継いでおくことで、必要な支援がすぐに受けられる**といった良さもあります。お子さんのニーズに合った

例年5月頃から就学支援の手続きが始まります。(7月下旬〆切)

就学支援とは、**お子さんの実態に合った学びの場を提供**することで、学校と保護者、関係機関と相談を通して進めていきます。**早めに相談することで、より考える時間が確保**で